

### 平成 30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州わくわくフットパス インバウンド事業
事業主体 (連絡先)	信濃路てくてく 0266-62-6122
事業区分	特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,000,323 円 (うち支援金：800,000 円)

#### 事業内容

・英語版ガイドブックを作成した。作成した地域は、諏訪大社上社周辺、下社周辺、下諏訪宿場町、木曾奈良井宿の4種類。ガイドブックの仕様はA5版、36ページ、表紙と裏表紙がカラーで、本文はモノクロ。

・英語ガイドトライアルを実施した。作成したガイドブックを実際の観光客に使用しながら、ガイドを実施した。ガイドを受けての感想、使い勝手などを実際のガイドブック作成にフィードバックした。

ガイド実施日時：3月16日午前10時～午後1時

参加人数：ガイド対象者アメリカ人2名 通訳 1名

信濃路てくてくスタッフ 3名

場所：諏訪大社上社及びその周辺



【 トライアルガイドの様子】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・英語のガイドブックは、予定がずれ込んで出来上がりがぎりぎりになったが、特に問題なく作成できた。

・英語ガイドのトライアルは、在住の外国人をモニターとして依頼ということではなく、本物の観光客(在住外国人の知人)をモニターとすることができ、大変有意義なトライアルとなった。

- ① 英語ガイドブックの作成
- ② 英語ガイドの仕組みの確立
- ③
- ④

#### 【目標・ねらい】

※自己評価 【 A 】

【理由】ガイドブックが特に問題なく、作成できたことと、英語ガイドのトライアルに、本物の観光客をお願いでき、ガイドブックや英語ガイドツアーの問題点をあぶりだせた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

31年度には、欧米個人旅行者への情報発信を積極的に行い、木曾→諏訪、木曾→松本、というような流れを作っていく事業に着手する。それとともに、通訳や英語に堪能な方ではない、地元の人間が、実際に英語ガイドを実施する仕組みづくりを、検討・企画していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある